

— すべてのステークホルダーから信頼され支持される企業へ —

**ADMIRE COMPANY**

# 2019年3月期 第2四半期 決算説明会資料

2018年10月25日  
ネットワンシステムズ株式会社  
証券コード 7518



# ■■■ Agenda ■■■

- 2019年3月期 Q1-2（4-9月）業績概要 P. 2-9
- 2019年3月期 通期業績の見通し P. 10-12
- 中期計画の進捗・レビュー P. 13-22

# 2019年3月期 Q1-2（4-9月）業績概要

# 2019年3月期 第2四半期 累計業績サマリー

(単位：百万円)	2019/03 Q1-2 実績 (A)		2019/03 Q1-2 期初計画 (B)		期初計画比 (A-B)		2018/03 Q1-2 実績 (C)		前年同期比 (A-C)	
	増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率
受注高	100,496		80,730		19,766	24.5%	79,821		20,675	25.9%
売上高	80,598	100.0%	73,800	100.0%	6,798	9.2%	70,696	100.0%	9,902	14.0%
売上原価	60,416	75.0%	56,400	76.4%	4,016	7.1%	54,098	76.5%	6,318	11.7%
売上総利益	20,181	25.0%	17,400	23.6%	2,781	16.0%	16,598	23.5%	3,583	21.6%
販売費及び 一般管理費	15,246	18.9%	14,700	19.9%	546	3.7%	14,287	20.2%	959	6.7%
営業利益	4,935	6.1%	2,700	3.7%	2,235	82.8%	2,311	3.3%	2,624	113.6%
経常利益	5,043	6.2%	2,700	3.7%	2,343	86.8%	2,370	3.4%	2,673	112.8%
親会社株主に 帰属する当期利益	3,309	4.1%	1,800	2.4%	1,509	83.9%	1,569	2.2%	1,739	110.8%
受注残	89,019		-		-	-	69,189		19,830	28.7%

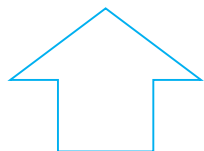
継続して原価低減・サービスの拡大・生産性の改善に努め、利益が増加  
受注高も、パブリック市場を中心に増加

# 利益増加の主要因

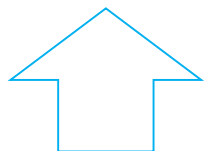
継続した、原価低減・サービスの拡大・生産性の改善

前年同期比

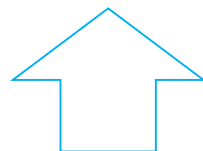
売上高  
14.0%増



売上総利益率  
23.5%→25.0%



販売管理費率  
20.2%→18.9%



原価低減・サービスの拡大・生産性の改善

営業利益  
113.6%増加

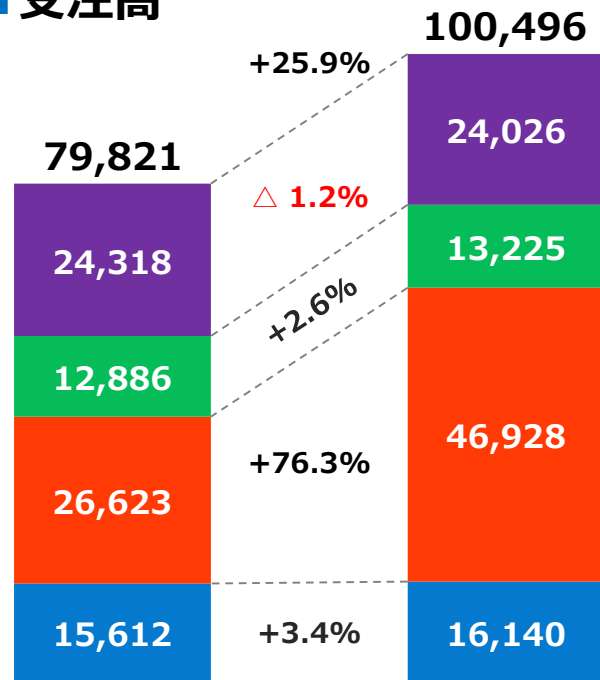
9月28日公表の業績予想修正値との差分

売上高：5億9800万円

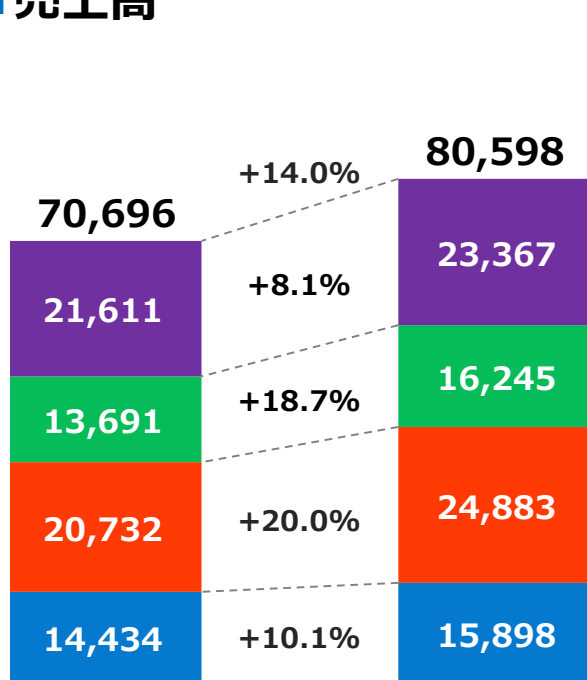
営業利益：3億3500万円

# マーケット別 受注高・売上高・受注残

## ■ 受注高

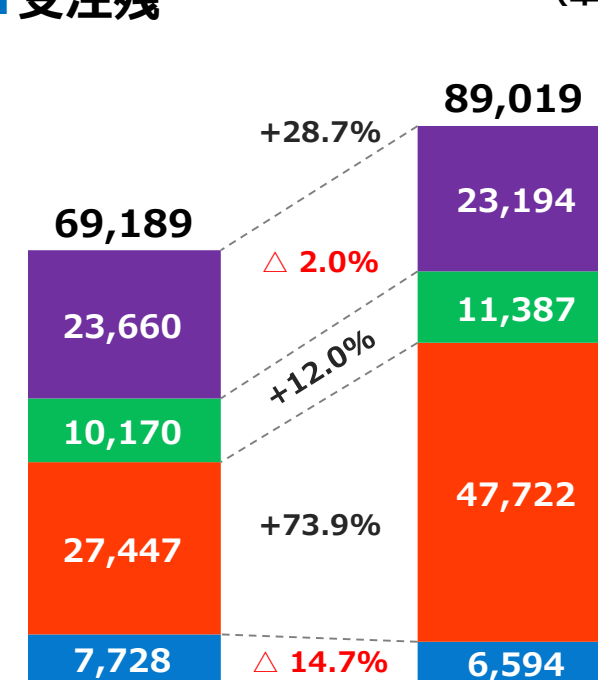


## ■ 売上高



## ■ 受注残

(単位：百万円)



2018/03 Q1-2

2019/03 Q1-2

2018/03 Q1-2

2019/03 Q1-2

2018/03 Q2末

2019/03 Q2末

### エンタープライズ

セキュリティ対策、クラウド基盤、働き方改革、IIoTのビジネスが好調。受注高は計画を超過して推移

### 通信事業者

クラウドサービス基盤ビジネスが好調

### パブリック

1Qで中央省庁の大型案件を受注。加えて、自治体でセキュリティ対策やクラウド基盤ビジネスが好調

### パートナー

主要パートナー向けのビジネス、及び、通信事業者経由のマネージドサービスが好調

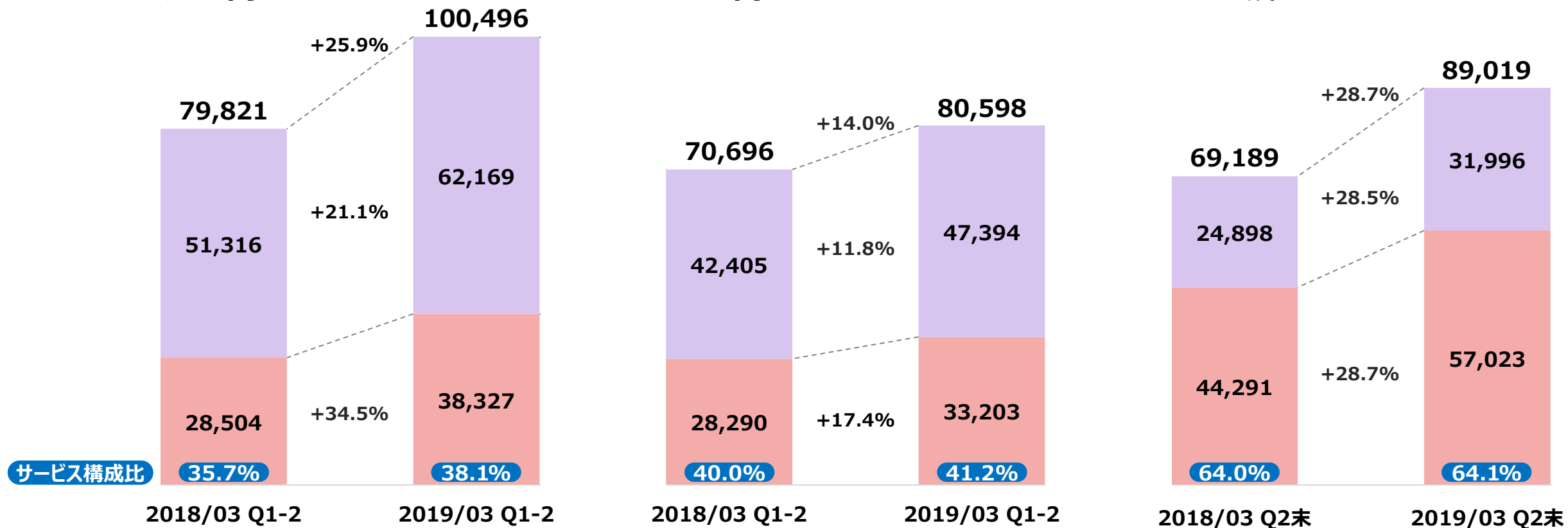
# 商品群別 受注高・売上高・受注残

## ■ 受注高

## ■ 売上高

## ■ 受注残

(単位：百万円)



機器

1Qで中央省庁の大型案件を受注。また、セキュリティ対策及びクラウド基盤ビジネスが好調

サービス

「統合サービス事業」に向けた提案が順調に進捗

# セグメント情報

(単位：百万円)		報告セグメント					計	その他	合計	調整額	連結 損益計算書 計上額
		インタープライズ <sup>△</sup>	通信事業者	パブリック	パートナー						
2019/03 Q1-2 【当期】	売上高	23,367	16,245	24,883	15,898	80,394	316	80,711	(112)	80,598	
	セグメント利益	972	1,865	982	1,293	5,114	132	5,246	(310)	4,935	
	利益率	4.2%	11.5%	3.9%	8.1%					6.1%	
2018/03 Q1-2 【前期】	売上高	21,615	13,691	20,732	14,434	70,473	781	71,255	(558)	70,696	
	セグメント利益	581	715	512	695	2,505	22	2,527	(216)	2,311	
	利益率	2.7%	5.2%	2.5%	4.8%					3.3%	

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、サーバサービス事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額には各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれています。全社費用は主にセグメントに帰属しない一般管理費です。



# 連結貸借対照表

(単位：百万円)	2018.09.30	前年度末比		2018.03.31
	実績	増減額	増減率	実績
<b>資産合計</b>	<b>109,828</b>	<b>3,000</b>	<b>+2.8%</b>	<b>106,827</b>
流動資産	98,344	3,180	+3.3%	95,164
現預金+有価証券	18,054	(5,898)	△ 24.6%	23,953
売掛金+受取手形	35,759	(5,995)	△ 14.4%	41,755
棚卸資産	24,438	11,301	+86.0%	13,136
その他	20,092	3,773	+23.1%	16,319
固定資産	11,483	(179)	△ 1.5%	11,662
有形固定資産	4,954	(171)	△ 3.3%	5,125
無形固定資産	1,620	(180)	△ 10.0%	1,801
投資等	4,908	172	+3.6%	4,735
<b>負債合計</b>	<b>47,074</b>	<b>610</b>	<b>+1.3%</b>	<b>46,464</b>
流動負債	42,234	690	+1.7%	41,544
固定負債	4,840	(79)	△ 1.6%	4,919
<b>純資産合計</b>	<b>62,753</b>	<b>2,390</b>	<b>+4.0%</b>	<b>60,363</b>
株主資本	62,467	2,097	+3.5%	60,369
その他の包括利益累計額	122	289	-	(167)
新株予約権	163	3	+2.0%	160
<b>負債純資産合計</b>	<b>109,828</b>	<b>3,000</b>	<b>+2.8%</b>	<b>106,827</b>

# 為替レート等

	2019/03 Q1-2	前年同期比		2018/03 Q1-2
		増減額	増減率	
為替レート（\$円）	109.10	(2.04)	△ 1.8%	111.14
1株当たり当期利益（円）	39.10	20.54	110.7%	18.56
1株当たり配当金（円）	17.00	2.00	13.3%	15.00

（注）配当金の内訳は、普通配当15.00円、創立30周年記念配当2.00円です

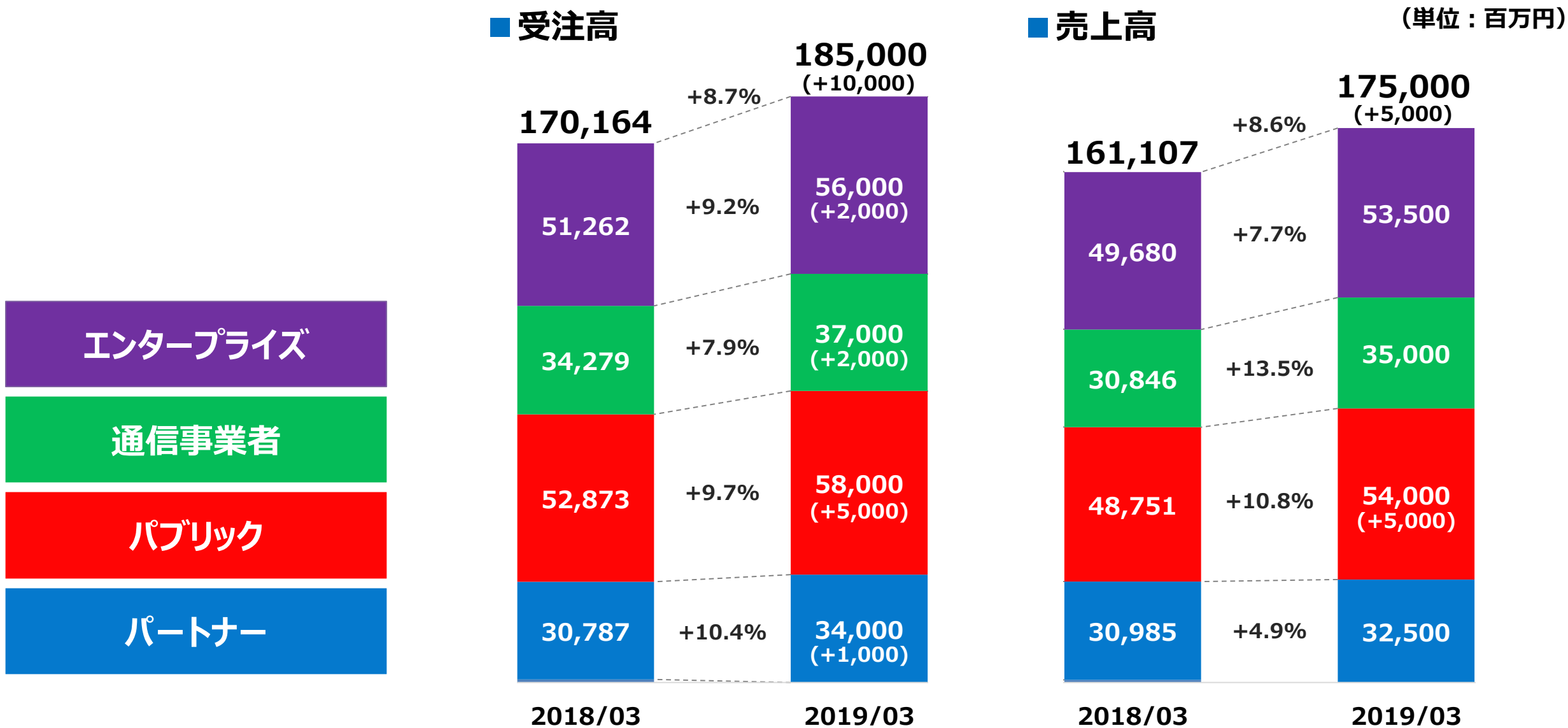
	2019/03 Q2末	前年同期比		2018/03 Q2末
		増減数	増減率	
社員（人）	2,336	48	2.1%	2,288

# 2019年3月期 通期業績の見通し

# 2019年3月期 通期業績の見通し (9月28日公表)

(単位：百万円)	2019/03 修正計画[9月28日公表] (A)		2019/03 期初計画 (B)		期初計画比 (A-B)		2018/03 実績 (C)		前年同期比 (A-C)	
					増減額	増減率			増減額	増減率
受注高	185,000		175,000		10,000	5.7%	170,164		14,836	8.7%
売上高	175,000	100.0%	170,000	100.0%	5,000	2.9%	161,107	100.0%	13,893	8.6%
売上原価	132,300	75.6%	129,500	76.2%	2,800	2.2%	123,278	76.5%	9,022	7.3%
売上総利益	42,700	24.4%	40,500	23.8%	2,200	5.4%	37,829	23.5%	4,871	12.9%
販売費及び一般管理費	30,700	17.5%	29,500	17.4%	1,200	4.1%	29,587	18.4%	1,113	3.8%
営業利益	12,000	6.9%	11,000	6.5%	1,000	9.1%	8,241	5.1%	3,759	45.6%
経常利益	12,000	6.9%	11,000	6.5%	1,000	9.1%	8,418	5.2%	3,582	42.6%
親会社株主に 帰属する当期利益	8,000	4.6%	7,400	4.4%	600	8.1%	5,682	3.5%	2,318	40.8%

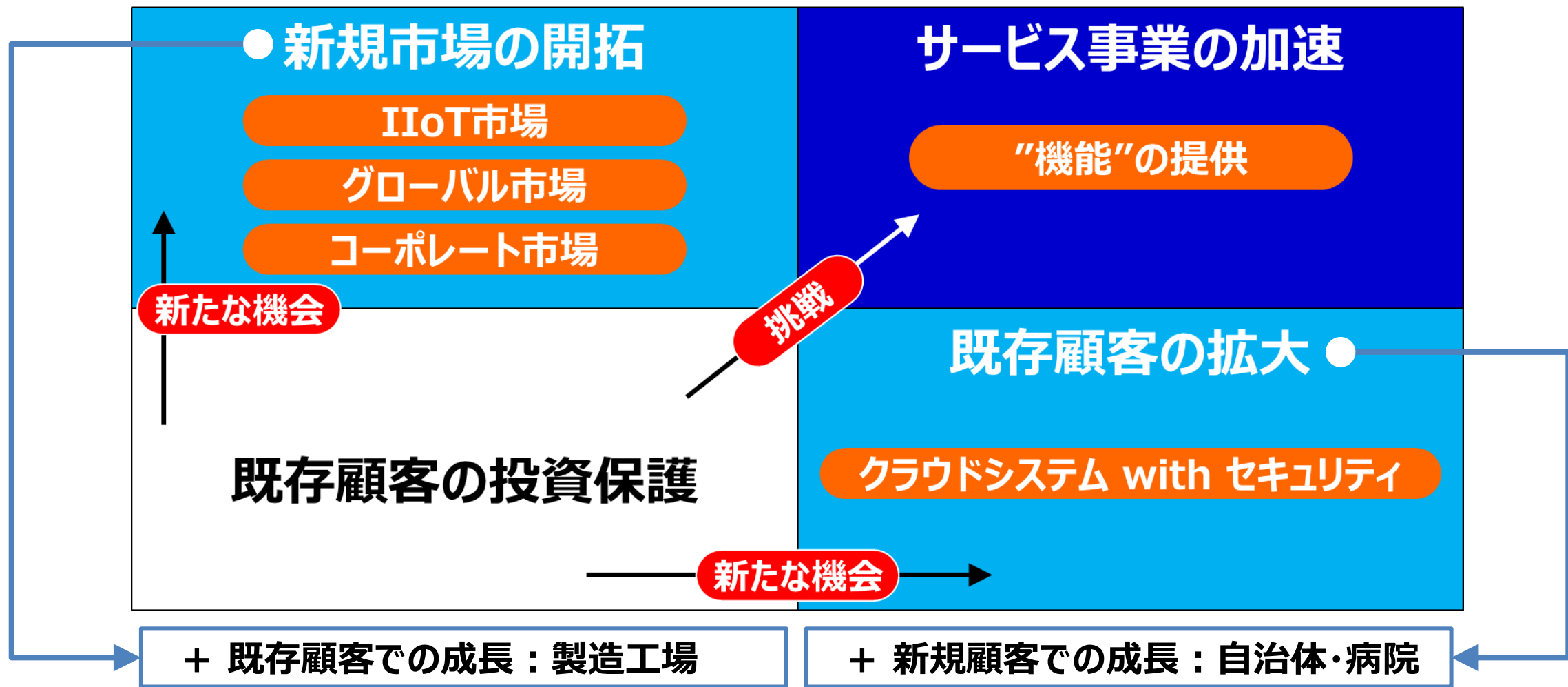
# 2019年3月期 通期業績の見通し マーケット別 (9月28日公表数値を反映)



# 中期計画の進捗・レビュー

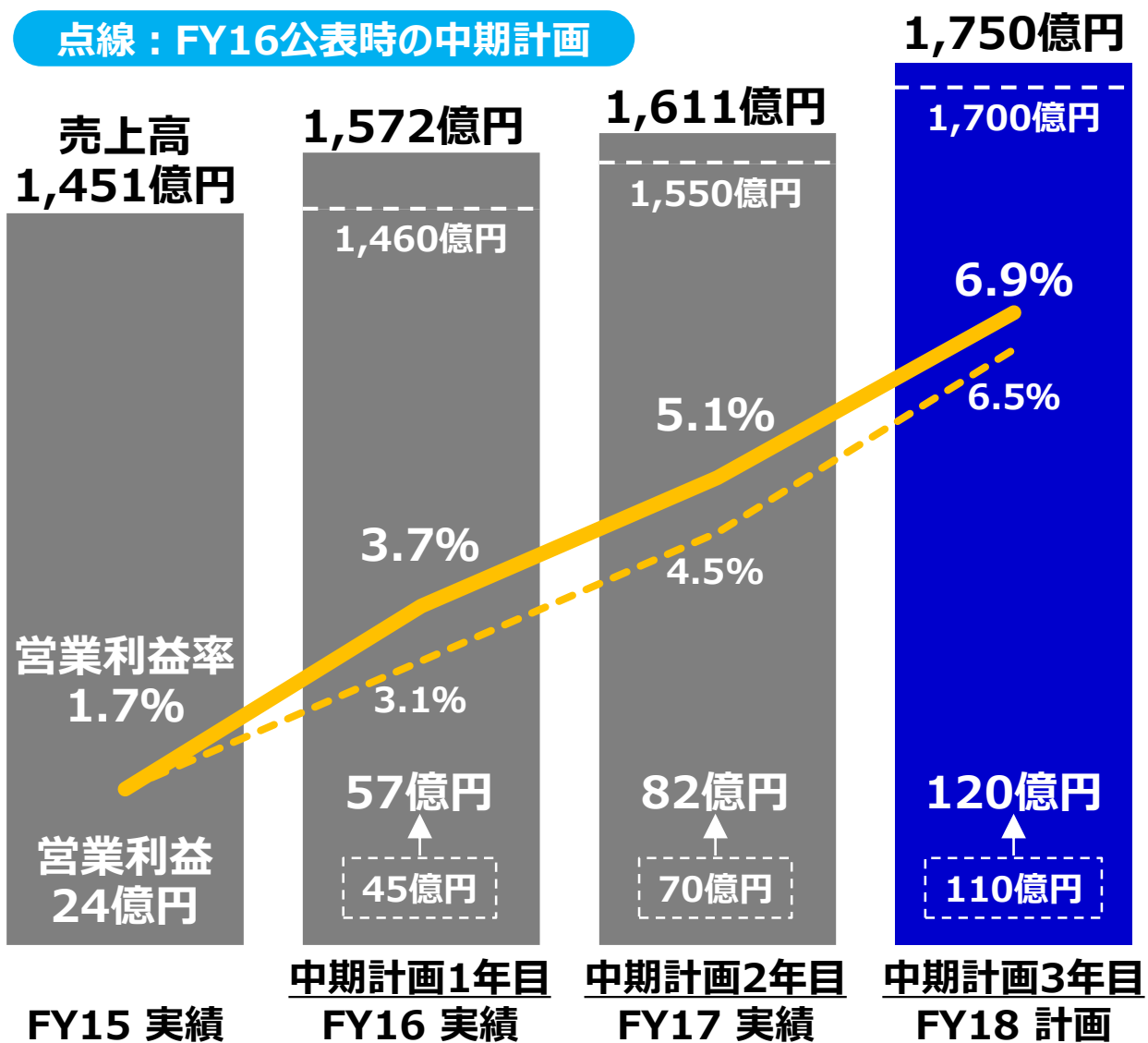
# 成長戦略レビュー

ICT市場全体が横ばいの中、市場・顧客の選択と集中で成長

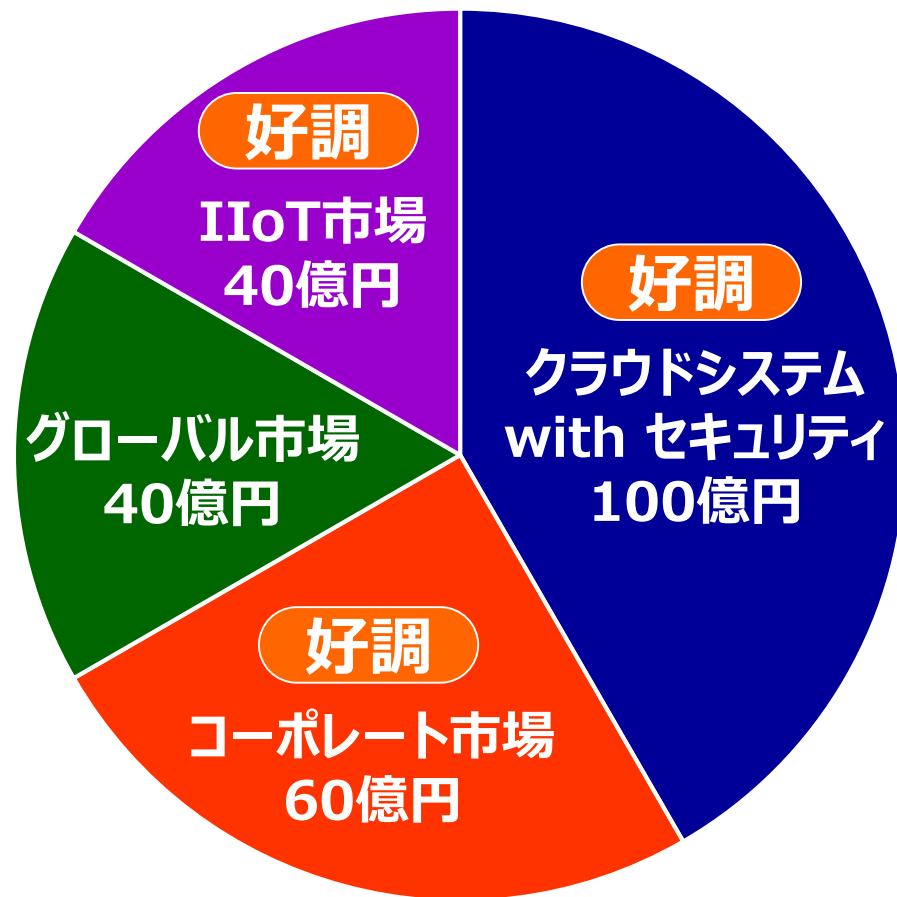


# 中期計画レビュー

点線：FY16公表時の中期計画



## 新市場・新ソリューション

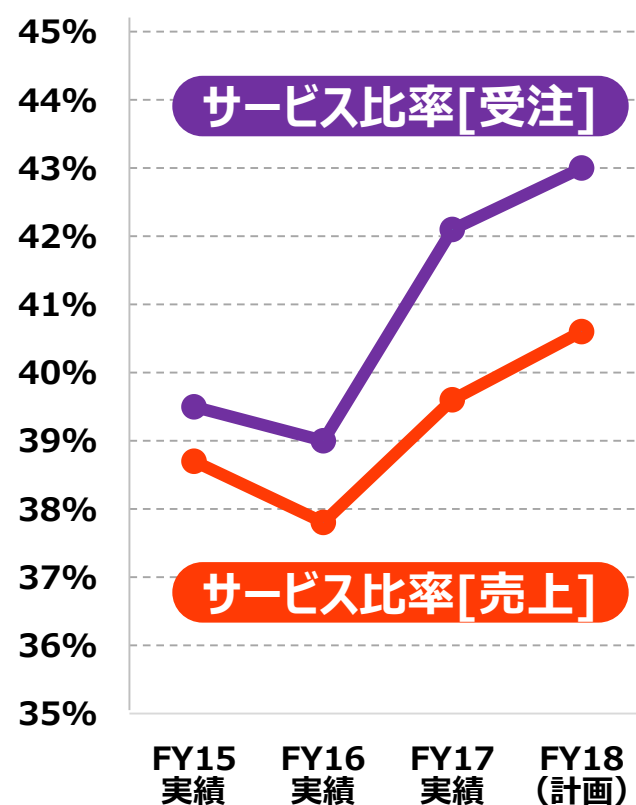
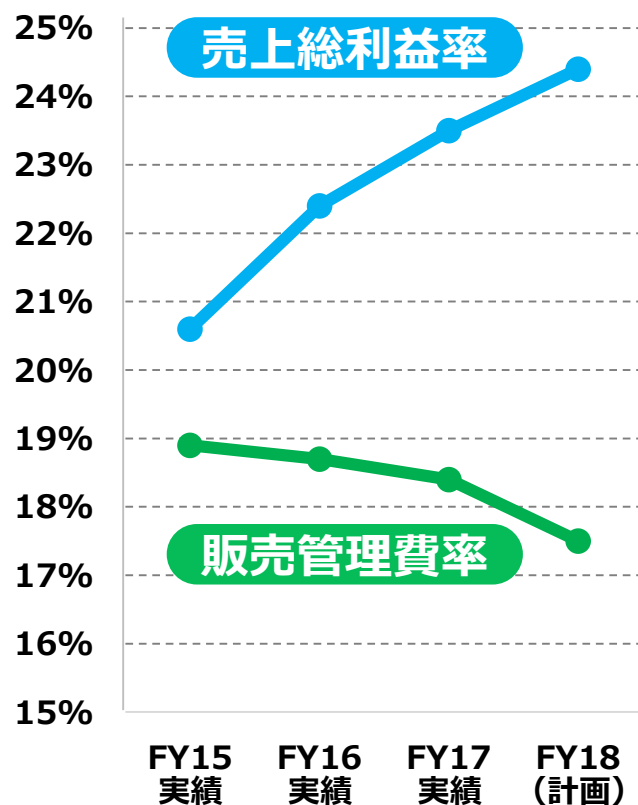




# 利益増加の主要因

## 原価低減・サービスの拡大・生産性の改善

### 各数字の推移



### 取り組み



# 継続した成長に向けて

## 市場環境並びにお客様の要望

ハイブリッドなクラウドシステムの活用

製造工場のIoT化

サイバー攻撃への対策強化

所有から利用へ（サービス型へ）

# ハイブリッドなクラウドシステムの活用

## SD-HCI (Software Defined - Hyper Converged Infrastructure) オンプレミスとマルチクラウドを安全に利活用可能なシステムの実現

SD-HCI アーキテクチャ：複雑なシステムの構築・運用をシンプル・セキュアに

企業・自治体など



グループ統合



オンプレミス

マルチクラウド

ソフトウェア連携で、各機器を一括コントロール / 異なるクラウドを同一セキュリティレベルに

# 製造工場のIoT化

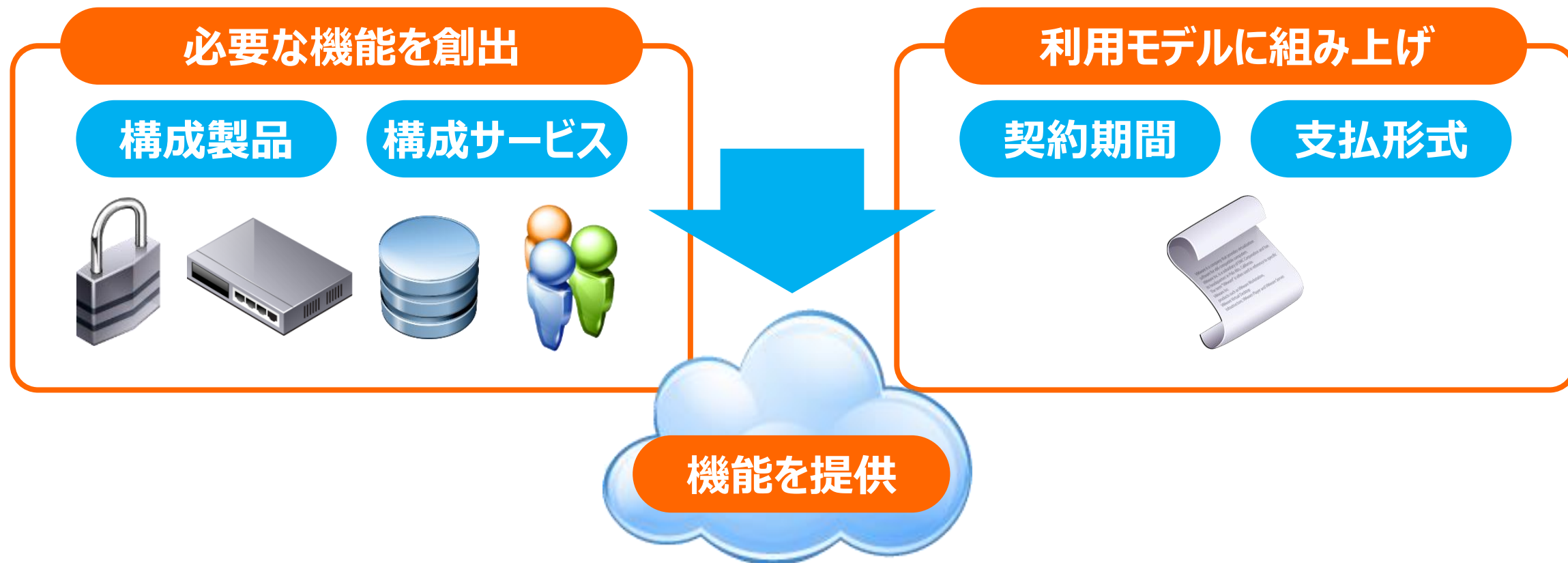
## Industrial IoT

情報技術(IT)と制御技術(OT)を安全に接続 / データ活用を支援



# 所有から利用へ（サービス型へ）

## ファイナンスサービスの拡大



# エンジニアリング能力を増強



ファシリティサービスに高い技術力や豊富なノウハウを持つ  
エクストリーク株式会社を完全子会社化（9月28日発表）

- 目的

- ✓ 拡大するファシリティサービスの需要に対応
- ✓ お客様との関係強化・信用力強化を図る

## ファシリティサービスの需要拡大分野

IIoT

病院

自治体

学校

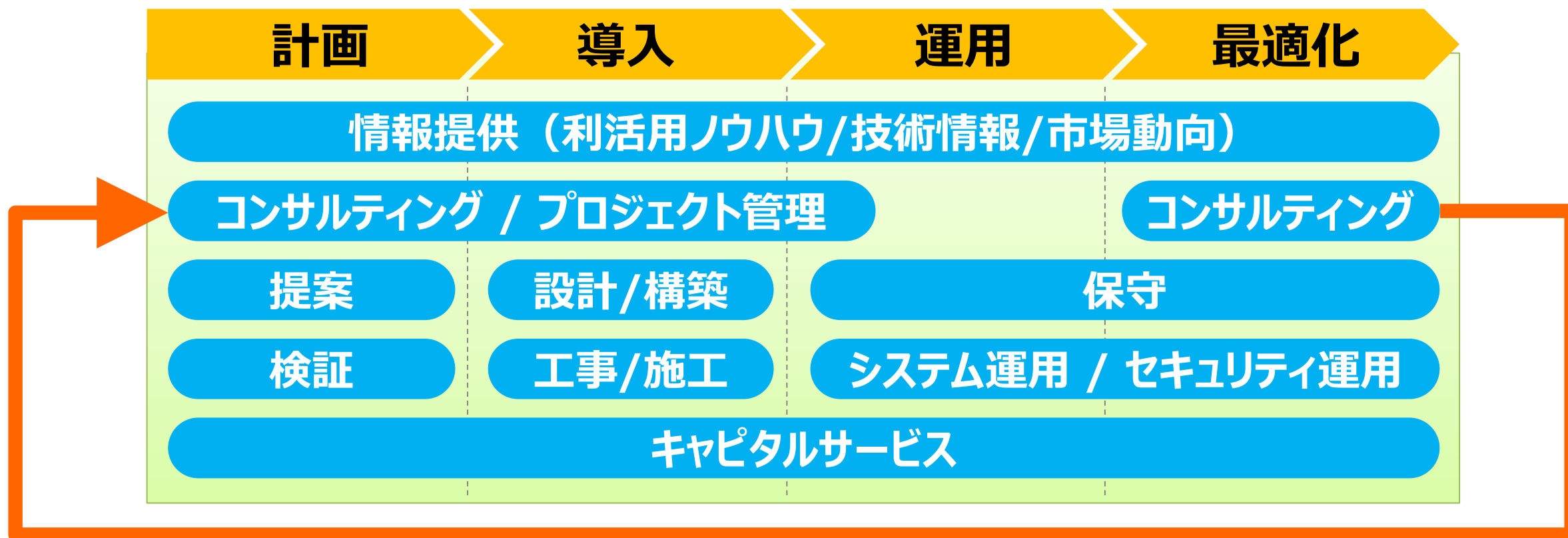
フィジカルセキュリティ

# 次の成長に向けた、「統合サービス事業」の加速

## お客様ICT基盤の全フェーズを支援

原価低減・サービスの拡大・生産性の改善

市場環境・お客様の要望への対応



つなぐ ∟ むすぶ ∟ かわる



net one